

新春を飾る音楽喜劇！不朽の名作オペラが、抱腹絶倒の喜劇に生まれ変わる—— SPAC 秋→春のシーズン 2023-2024 #3

『ばらの騎士』

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。SPACでは、古今東西の名作を注目の演出家たちによる現代演出でお届けする「秋→春のシーズン」を実施中です。今年度シーズンのラストを飾るのは、芸術総監督・宮城聡が、昨年の『リチャード二世』が好評を博した寺内亜矢子との共同演出でお届けする新作『ばらの騎士』です。

■名作オペラの舞台を鹿鳴館時代に置き換え、斬新な演出と音楽が彩る、ドタバタラブコメディ。

『ばらの騎士』は、1911年にドイツで初演され、現在もなお上演され続ける名作オペラです。SPAC版では、舞台設定をマリア・テレジア治下のウィーンから日本の鹿鳴館時代に置き換え、軽快なストレートプレイとして上演。ユーモアあふれる登場人物たちのキャラクターを活かし、抱腹絶倒の音楽喜劇へと仕立てます。注目の音楽は、宮城演出のオペラ『ルサルカ』(2017)に参加し、指揮者・チェンバロ奏者・作曲家としてマルチに活躍する根本卓也氏がSPAC初登場。俳優が生演奏で届ける楽曲を新たに創作します。

■オペラをストレートプレイに。「言葉の持つ力」に着目し、今届けたい笑いを。

宮城が作家フーゴ・フォン・ホーフマンスタールの作品を手掛けるのは、1995年初演の『エレクトラ』以来二作目。『ばらの騎士』はホーフマンスタールが作曲家リヒャルト・シュトラウスと共同制作した作品ですが、今回宮城はシュトラウスの雄弁な音楽を解き放ち、その台本上にある「言葉の力」を味わい尽くす演出を試みます。そして自らが台本を執筆し、今届けたい笑いの要素を散りばめます。演技プランは、長年宮城作品で俳優として活躍し構成力にも長けた寺内亜矢子が担い、鋭い洞察力で新たな解釈を加えていきます。二人の演出家のアイデアを組み合わせ作り上げるSPAC版『ばらの騎士』、どうぞご期待ください。

■公共劇場の新たな試み。“伴走者”と共に作品を育てる新企画『ばらの騎士』サロン

今回初の試みとして、長期にわたる創作現場を公開し、作品の成長を見つめることができる有料企画『ばらの騎士』サロンを立ち上げました。稽古場見学など全メニューに参加することのできる“サロンメンバー”と、対象メニューへの“単発参加者”を募集。サロンメンバーは東京都、伊豆の国市、浜松市など、県内外各地から27名が集い、企画をスタートさせています。クリエイションの“サポーター”を広く募り、その“伴走者”とともに創作する、公共劇場の新たな試みとしてもぜひご注目ください。※詳細については裏面をご覧ください。

ばらの騎士 [新作]

演出: 宮城聡、寺内亜矢子 / 作: フーゴ・フォン・ホーフマンスタール / 音楽: 根本卓也

舞台美術デザイン: 香坂奈奈 / 照明デザイン: 小早川洋也 / 音響デザイン: 澤田百希乃
衣裳デザイン: 清千草 / ヘアメイクデザイン: 梶田キョウコ

出演: 石井萌水、大高浩一、木内琴子、貴島豪、小長谷勝彦、榎原有美、佐藤ゆず
武石守正、永井健二、本多麻紀、牧山祐大、宮城嶋遥加、森山冬子、山本実幸
吉植荘一郎、若宮羊市 [五十音順]

<上演時間: 120分以内を予定(途中休憩なし)>

日本語上演 / バリアフリー日本語字幕・英語字幕(字幕機要申込)

■公演日:

1月7日(日)、8日(月祝)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、3月10日(日)
各日 14:00 開演

■会場: 静岡芸術劇場(グランシップ内)

◎あらすじ

若い愛人オクタヴィアンとのひと時の恋に浸る元帥(げんすい)夫人だが、その時間はいつまでも続かないと知っている。一方オクタヴィアンは、花嫁に銀のばらを届ける婚約の使者“ばらの騎士”に任命され、かなりウザめなオックス男爵と結婚させられる娘ゾフィーと出会い……。浮気? 政略結婚? 一目惚れ!? 略奪愛!? 気になるこの恋愛事情、一体誰が諦め、実らせる...??



演出家プロフィール

宮城聡(みやぎ・さとし)



©加藤孝

演出家。2007年 SPAC 芸術総監督に就任。自作の上演とともに世界各地から現代社会を鋭く切り取る作品を紹介、また県内各地でのアウトリーチ活動にも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営を行う。代表作に『王女メデア』『マハーバーラタ』『アンティゴネ』など。近年では『イドメネオ』などオペラの演出も手がけている。

寺内亜矢子(てらうち・あやこ)



©加藤孝

1997年、ク・ナウカシアターカンパニーにて演劇活動開始。SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優・演出・演奏・音楽構成・ドラマトルク・通訳・翻訳等、舞台芸術創作などを手がける国際派マルチプレイヤー。演出作に『リチャード二世』(SPAC 秋→春のシーズン 2022-2023)など。

音楽家プロフィール 根本卓也(ねもと・たくや)



指揮者、チェンバロ奏者、作曲家。東京藝術大学大学院修士課程(指揮専攻)修了。在学中に英・独・仏・伊・羅・露・チェコ語に至るまで、あらゆる舞台作品を原語で解する類稀な才能を見出されキャリアをスタート。以来、新国立劇場オペラ部門音楽スタッフとして年間を通して公演に寄与する傍ら、東京二期会・OMF・ニッセイオペラ等、国内の主要団体に多岐にわたり活躍。業界の屋台骨として欠くべからざる存在となっている。

チケット <好評販売中!>

●料金(税込/全席指定)

一般: 4,200円

U25・学生割引:

[25歳以下および大学生・高校生] 2,000円

[高校生以下] 1,000円 * そのほか各種割引あり

チケットお取り扱い

SPAC チケットセンター

TEL: 054-202-3399 (10:00~18:00, 休業日を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

* グランシップチケットセンターでも取り扱いあり

中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」

SPAC では「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。本作の中高生鑑賞事業公演では、37校・約5,115人の中高生が来場予定です。一般の方がお入りいただける日程もございます。詳細は公式サイトにて。

* 1月10日(水)~3月8日(金) 23公演

主催・製作: SPAC-静岡県舞台芸術センター

ふじのくに芸術祭共催事業

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

『ばらの騎士』に関するお問い合わせや取材のご希望は、

SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当「佐藤美咲・坂本彩子」までご連絡下さい。

TEL: 054-203-5730 (静岡県劇場) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: koho@spac.or.jp

新企画『ばらの騎士』サロン

参加費(『ばらの騎士』公演の観劇料は含まない)

一般: 20,000円

単発参加: 2,300円・各1,500円、400円・500円、5,600円・各2,000円

■スケジュール・メニュー ★は単発参加可能なメニュー

(1).チェックイン

日時: 9月30日(日) 10:15~12:30 @舞台芸術公園

(2).★宮城聡の演劇世界講座(講師:大澤真幸)

日時: 10月29日(日) 10:30~12:30 @静岡芸術劇場

(3).★『ばらの騎士』講座(講師:大岡淳)

日時: 11月11日(土) 10:30~12:30 @静岡芸術劇場

(4).★制作部座談会

日時: 11月23日(木祝) 10:30~12:30 @静岡芸術劇場

(5).★根本卓也トークショー

日時: 12月2日(土) 10:30~12:30 @静岡芸術劇場

(6).★シュトラウスとホーフマンスタール/根本卓也と大岡淳によるトークショー

日時: 12月21日(木) 19:30~20:30 @静岡芸術劇場

(7).ゲネプロ見学

日時: 1月6日(土) 時間未定 @静岡芸術劇場

(8).スペシャル・レセプション

日時: 1月8日(月祝) 公演終演後

(9).稽古見学

日程:

11月9日(木)、10日(金)、23日(木祝)、24日(金)、
28日(火)、29日(水)

12月6日(水)、13日(水)、18日(月)、21日(木)

その他、サロンメンバーの特典として、演出家の稽古場日誌を定期配信しています。

その他、サロンメンバーの特典として、演出家の稽古場日誌を定期配信しています。

12月2日の根本卓也トークショーでは、今回初めてSPAC作品の音楽を担当する根本氏に、どのように音楽を制作しているのか、実際にピアノを演奏しつつ語っていただきます。ぜひ取材にお越しください。



▲根本卓也による第一期稽古時の音楽制作の様子。(撮影:平尾正志)